

3. 書く練習

書くことは苦しい作業か？

→訓練をすれば慣れてくる→訓練しよう

※ルール：忘れた漢字は平仮名やカタカナで書いてよい

※解答は別紙（配布）に書く。

※途中で考え込まないで、できるだけ書き続けることに集中すること

訓練1. 主語を設定した単文（述語が1つだけの文）をできるだけたくさん書く

例：「トルコ」について、できるだけたくさんさんの文を書きなさい。

トルコは面積の大きい国である。トルコは観光資源の豊かな国だ。トルコは日本から遠く離れている。トルコは周辺諸国と陸続きである。トルコはヨーロッパとアジアの中間に位置する。トルコは黒海に面している。トルコは地中海にも面している。トルコは…

課題：「父」について、3分以内でできるだけたくさんさんの文を書きなさい。

訓練2：述部を設定した単文をできるだけたくさん書く

例：「笑う」という述語を用いて、できるだけたくさんさんの文を書きなさい。

ぼくが笑う。君が笑う。彼が笑う。彼女が笑う。先生が笑う。学生が笑う。職員が笑う。
ジェレンが笑う。杉山さんが笑う。俣野さんが笑う。吉村さんが笑う。ジャン先生が笑う。
メルトハン先生が笑う。シナン先生が笑う。鈴木君が笑う。田川君が笑う。乙黒君が笑う。
…

課題：「寝る」を述語にした文を、3分以内でできるだけたくさん書きなさい。

訓練3：単文のしりとりで文をつないでいく

例：「私は」から始める。次の文は、前の文の主語や目的語、述語など、どの部分を使ってもよい。

私はアンカラ大学の教師だ。アンカラ大学は歴史ある大学である。歴史の授業は好きではなかった。今は自分が授業をすることになっている。自分の能力にはあまり自信がない。自信が持てるにはどうすればいいか考えなければならない。ねこのえさが高いのはどうすればよいか。うちのねこはかわいい。うちにはたくさん本がある。本はいくらあっても足りない。本を買いたい。お金があれば本をたくさん買えるのだが。…

課題：上の例を参考にして、「私は」から文を書き、5分以内にできるだけたくさんの方を書きなさい。

訓練4．テーマをつなげて書く

この訓練では、テーマが前の文とつながっていればよく、同じ語を使う必要はない。

例：自分が最も興味があることは、言語の構造とはどうなっているかということである。中でもとりわけ、語の内部のしくみに興味がある。この学問分野を、形態論という。これと関連して、語と語の関係がどのようになっているかを考える学問分野もある。この学問分野を、統語論という。私はどちらも好きだ。しかし、形態論のほうが楽しい。特にトルコ語について考えるとそれがよく実感できる。なぜみんなトルコ語をやらないのだろうか。みんな英語にしか興味がないように見える。…

課題 1：例 4 と同じ条件で「日本」について、10 分間できるだけたくさんの文を書きなさい。

課題 2：例 4 と同じ条件で「外国語」について、10 分間できるだけたくさんの文を書きなさい。

参考文献・資料

清水明美（他編）（2011）『Practical 日本語 文章表現編—成功する型—』（改訂版）．東京：
おうふう．

林治郎・岡田三津子（編著）（2008）『改訂版 言語表現技術ハンドブック』．大阪：晃洋書
房．